

哲 學 研 究

第 三 十 二 卷 第 三 十 二 冊

第 三 百 八 十 一 號

昭 和 二 十 四 年 四 月 十 五 日 發 行

カントの理性・道德
宗教（完）
……
文學士 大島 康正

認識の條件……
——Fictionの形而上學への試論——
……
文學士 松本 彦良

聖アウグスチヌスに於ける
回心の問題（承前）
……
文學士 山田 晶
——秩序の問題——

京 都 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回 研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回 『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名) 京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四百二十圓、前後二期ニ分テ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	有賀鐵太郎
文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	園原太郎
文學士	高田三郎
文學士	武内義範
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松真一
文學士	松尾義海
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

彙報

印度學讀書會

三月二十五日午後二時 於印度文化研究所深草演習室

耆那教に於ける兩元交渉論

武田 惇氏

聖婆伽梵歌の倫理的根據

松井 弘 忠氏

寄贈雜誌

一橋論叢(二十ノ五・六) 經濟學雜誌(十九ノ四・五)

東洋史研究(十ノ四) 國語・國文(十七ノ七・八・九)

文學研究(三十六・三十七) 哲學雜誌(三)

哲學季刊(九)

寄贈圖書

宮島 肇著 文化哲學の基礎研究

培風館 定價 二百八拾圓

前 號 目 次

カントに於ける倫理……文學博士 島 芳 夫
と宗教の關係に就て

手簡より見たる平陽……文學士 保 田 清
助の思想大要

我が國上代に於ける家……文學士 木 村 俊 夫
族道徳思想の研究(完)

― 家族名稱を手廻りとせる ―

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編集事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編集ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券四圓御送付下され度候

昭和二十四年四月十日印刷納本
昭和二十四年四月十五日發行

編集人 京都大學文學部内

右代表者

小 田 武

發行人 久保井理津男

東京千代田神田區河原町四ノ四

印刷人 鈴 鹿 幸 保

京都市田中西浦町四〇

印刷所 弘文堂印刷部

京都市田中西浦町四〇

發行所 株式會社 弘 文 堂

東京千代田神田區河原町四ノ四

價 定		冊 數 定 價 郵 稅	
一冊	三十五圓	金二圓	
六冊(前金)	二百十圓	金十二圓	
三冊(前金)	四百二十圓	金二十四圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)